

専大スポーツ

【専大スポーツ】<https://www.senshu-u.ac.jp/sports/>

No. 466

専大スポーツ

編集部公式WEB

掲載記事を含む全文はコチラ↑

X @sensuponow

Instagram sensuponow

小田 準優勝

1打差で学生日本一逃す



準優勝のトロフィーを手に笑顔の小田

日本学生ゴルフ選手権競技Ⅱ8月26〜29日、長野県・穂高カントリークラブ

学生ゴルフ日本一を決める大会で小田祥平(文4・開志国際高)が準優勝を果たした。初日を首位と1打差の2位タイにつけると、2

昨日の38位から2位に大きく順位を上げ、「もともとドライバーやアイアンショットには自信があったので、パッティングの上達が今回の結果につながったのだと思う。また、主将として、最後

目には1イーグル・5バーディーのスコア63、トータル12アンダーで単独首位に躍り出て決勝進出を決めた。3日目もスコア66のトータル16アンダーで首位をキープ。優勝に王手をかけて迎えた最終ラウンドはスコアを70に落とし、栄冠にわずか1打及ばなかった。

小田は「この大会には1年次から出場してきたので、今年は結果を残したいと思っていた。調子も良く、自分のゴルフさえしていれば必ず結果は出ると思っていたので、深く考えずにこれまでも通りプレーをすることを心掛けた」と話す。



10月16日からはトッププロ・アマが出場する日本オープン選手権が控える。「初出場だが臆することなく、これまで積み重ねたものを発揮して、一打でも良いスコアを残したい」と意気込んだ。

来年度からはプロの世界に足を踏み入れる。「日本のレギュラーツアーで賞金王になって、欧州や米国で戦える選手になりたい」と大きな目標を掲げた。

(知地泰雅・文3)

男子Aブロック残留女子Aブロック復帰

ゴルフの関東大学秋季Aブロックリーグ戦(9月15〜19日、埼玉県)で男子は6位。10月3日、静岡県で行われた明大と

65kg未満級 河本 3位入賞

全国学生女子相撲選手権大会Ⅱ9月20日、東京都・アリナ立川立飛

河本優心(経済1・鳥取城北高)は65kg未満級で3位入賞、無差別級ではベスト16入りを果たした。

65kg未満級の予選リーグ戦は2グループで行われ、河本は石川玲愛選手(日大)、山下寧々選手(名桜大)と対戦。緊張した様子だったが、蒲田勝太監督からの「攻め切って」との声で集中力を高めた。石川選手との組は、やや押され気味だったが「自分の相撲を取り切った結果を出すことができた」と(河本)と寄り倒しで、大学初勝利を挙げた。

1勝1敗で決勝トーナメントに進めたが、準決勝で田村仁愛選手(神戸親和大)にはたき込みで敗れた。

試合後、河本は「初勝利はとてうれしかったが、65kg未満級準決勝と無差別級で山下選手に2度負けてしまったのが悔しかったと振り返った。社会人の実力者も参加する10月の全日本女子相撲選手権大会に向けて「難しい大会になると思うが、今回よりも良い相撲を取って、結果を残せるように頑張りたい」と意気込んだ。(知地)



チームをけん引した木塚 撮影=中島



1部復帰に歓喜の部員たち 撮影=大石

女子 接戦制し1部復帰

1部復帰に歓喜の部員たち

2部を制した女子は入替え戦で日大と対戦。3〜2で勝利し、見事1部復帰を決めた。

堀心海(文2・聖ウルスラ学院英智高)、小田楓(文1・富山国際大付高)がシングルスで連勝し、昇格まであと1勝と迫ったもののダブルスで連敗した。勝負の行方を託さ



白鷗大戦(10/5)でトライに沸く選手たち 撮影=君嶋

白鷗大戦(10/5)でトライに沸く選手たち

主将の吉田温広(経営4・國學院大學栃木高)は「対戦相手も手ごわくなるが、本当に負けられない。自分たちが成長できている実感があつたので、このまま継続していきたい」と、残り4試合にかける思いを語った。

3年連続で入れ替え戦で敗れ、あと一歩届かなかったラグビー部。石倉体制3年目の今年こそ、悲願の1部復帰を目指す。

(藤林利英・文2)

男子 木塚が敢闘賞&優秀選手賞 女子 首藤 遊佐 最優秀ペア賞

秋季関東学生卓球リーグ戦Ⅱ9月10〜18日、渋谷区・代々木第二体育館ほか

男子は5勝2敗で3位、女子は3勝4敗で5位となった。

個人では男子の木塚陽斗(文2・明豊高)が敢闘賞と優秀選手賞、女子の首藤成美(文2・希望が丘高・遊佐美月(経続で最優秀ペア賞を獲得した。)

谷川幸咲(文1・作新学院高)が、粘り強いラリーと決定力抜群のスマッシュで快勝し、入れ替え戦を制した。

長谷川は「緊張したが応援してくれる先輩や同期の声がたくさん聞こえて、思い切り楽しむことができた。1部復帰を目標にしていたので、4年次生の最後のリーグ戦で最後に自分が勝って復帰を決めることができてうれしい」と笑顔を見せた。(君嶋悠樹・経済2)

開幕3連勝

関東大学ラグビーリーグ戦(2部)

9月14日に開幕した関東大学ラグビーリーグ戦(2部)。専大は開幕3連勝を挙げ、首位を堅持している。

この後は國學大、山学大、拓大、中大との対戦が控え、1部復帰に向けて大事な試合が続く。石倉俊二監督は「ここまで勝てない」とコメントしている。

主将の吉田温広(経営4・國學院大學栃木高)は「対戦相手も手ごわくなるが、本当に負けられない。自分たちが成長できている実感があつたので、このまま継続していきたい」と、残り4試合にかける思いを語った。

3年連続で入れ替え戦で敗れ、あと一歩届かなかったラグビー部。石倉体制3年目の今年こそ、悲願の1部復帰を目指す。

(藤林利英・文2)

サッカー一部・橋本 J3鳥取に加入内定

サッカー一部の橋本清太郎(文4・流通経済大付柏高)がJ3のカイナレ鳥取に2026シーズンから加入することが内定した。特別指定選手としてチームに合流し、9月20日のザスパ群馬戦でJリーグ初出場を果たした。

橋本は対人守備に優れたディフェンダーで、「幼い頃からの夢であったプロサッカー選手になることができ、本当にうれしく思う。自分を大きく成長させてくれた監督、コーチ、チームメイトに心から感謝している」と喜びを語った。入学後は出場機会に恵まれない時期もあったが「自分と向き合い、試行錯誤を重ねる中でここまでたどり着くことができた」と目標のプロ入りを果たした。(竹田一爽・文4Ⅱ写真)



サッカー一部・橋本